

9月議会

8/28～9/27

9月定例議会は、9月27日に閉会しました。最終日の27日は各議案に対する採決が行われました。日本共産党は一般会計決算等5つの議案に対し、理由を述べて反対しました。主な議案に対する討論は下記の通りです。各議案に対する会派、議員の態度は、次週9月議会特集号で掲載します。

主な議案に対する討論者

議案	提出者	賛成討論	反対討論	可否
令和4年度一般会計決算	市長	中島裕介	西山 実	可
令和4年度国民健康保険特別会計決算	市長	北田麗子	岡田重美	可
令和4年度後期高齢者医療特別会計決算	市長	田中新人	岡田重美	可
令和4年度介護保険特別会計決算	市長	木村眞雄	岡田重美	可
甲賀市コミュニティセンター条例の一部改正	市長	西村 慧	岡田重美	可
現行の健康保険証の存続を求める意見書	岡田重美	西山 実	西田 忠	否
高等教育の無償化等に関する意見書	西山 実	岡田重美	木村眞雄	否
県立小児保健医療センターのベッド削減の中止を求める意見書	山岡光広	岡田重美	瀬古幾司	否
子どもの医療費助成拡充に伴う財政負担に関する意見書	山岡光広	西山 実	小倉 剛	可
オウム真理教（Aleph、ひかりの輪、山田らの集団）に対する公安調査庁による観察処分期間更新を求める意見書	橋本律子	—	—	可

令和4年度一般会計決算認定 西山議員反対討論

歳入決算額461億7400万円、歳出決算額433億6547万円

最終日、西山実議員が令和4年度甲賀市一般会計決算に対し行った反対討論は次の通りです。（骨子）

最終日、西山実議員が令和4年度甲賀市一般会計決算に対し行った反対討論は次の通りです。（骨子）

令和4年度はこれまで以上のコロナ感染拡大に加え、4月から起こった物価高騰は、市民の生活に大きな影響を及ぼすものとなった。そのことから令和4年度の決算が、市民や事業者の実態に寄り添い、市民の命と暮らしを守る施策が講じられたのかどうか問われる。

コロナ感染対策・物価高騰対策ともに事業のほとんどが国の交付金が充当されたが、支給要件に届かず、未執行が膨らんでいる。本当に困

っている世帯に支援が行き届いていないのではないかと、市独自の支援策が必要である。

歳入では個人市民税、法人市民税ともに伸びているが、個人市民税の収入未済額については、200万から300万円の所得階層が最も多いことからみて、市民の中も収入格差が広がっているのではないかと、市民の懐を温める施策が必要。ふるさと納税は3億3千万寄付があったが、市民が他市町へ寄附する額も増えている。必要経費等を除くと収入は多くない。歳入確保という点で課題が残る。

歳出では、中学卒業までの

子どもの医療費助成拡充に伴う財政負担に関する意見書 可決

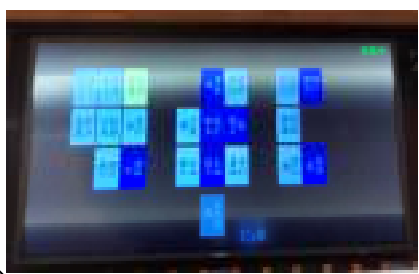
三日月知事が、県として子どもの医療費助成制度の対象を18歳まで引き上げること

担すべき」との声が多く出されています。

を表明しましたが、知事提案は15歳から18歳までは、1レシート500円の自己負担を前提としながら県が全額負担、残る小・中学生については市町の負担とする考えです。これに対し、県内市町の首長からは、ゼロ歳児から18歳まで県と市町が連携して負

担すべき」との声が多く出されています。日本共産党の山岡光広議員は、県が15歳から18歳までを全額負担ではなく、小・中学生を含めて18歳までを、県が2分の1、市町が2分の1とするよう再検討を求める意見書を提出しました。凛風会、無所属の福井議員、日本共産党の賛成多数で可決されました。

賛成・反対ボタンにより採決



議会議場規則が改正され、電子表決システムにより、採決をとることとなりました。ボタンを押した結果が議場に表示されます。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2023年10月1日 第466号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044